

みずほCustomer Desk Report 2021/11/22号(As of 2021/11/19)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	114.37
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	114.29	1.1367	129.97	1.3495	0.7278
SYD-NY High	114.54	1.1374	129.98	1.3509	0.7291
SYD-NY Low	113.59	1.1250	127.99	1.3410	0.7228
NY 5:00 PM	114.03	1.1300	128.65	1.3443	0.7237
NY DOW	35,601.98	▲ 268.97	日本2年債	-0.1300	▲1.00bp
NASDAQ	16,057.44	63.73	日本10年債	0.0700	▲1.00bp
S&P	4,697.96	▲ 6.58	米国2年債	0.5118	1.07bp
日経平均	29,745.87	147.21	米国5年債	1.2222	0.42bp
TOPIX	2,044.53	9.01	米国10年債	1.5471	▲3.93bp
シカゴ日経先物	29,630.00	5.00	独10年債	-0.3430	▲5.95bp
ロンドンFT	7,223.57	▲ 32.39	英10年債	0.8775	▲4.35bp
DAX	16,159.97	▲ 61.76	豪10年債	1.8330	3.50bp
ハンセン指数	25,049.97	▲ 269.75	USDJPY 1M Vol	7.15	0.28%
上海総合	3,560.37	39.66	USDJPY 3M Vol	7.05	0.15%
NY金	1,851.60	▲ 9.80	USDJPY 6M Vol	7.21	0.16%
WTI	75.94	▲ 2.47	USDJPY 1M 25RR	-0.41	Yen Call Over
CRB指数	235.023	▲ 1.34	EURJPY 3M Vol	7.22	0.28%
ドルインデックス	96.03	0.49	EURJPY 6M Vol	7.78	0.38%

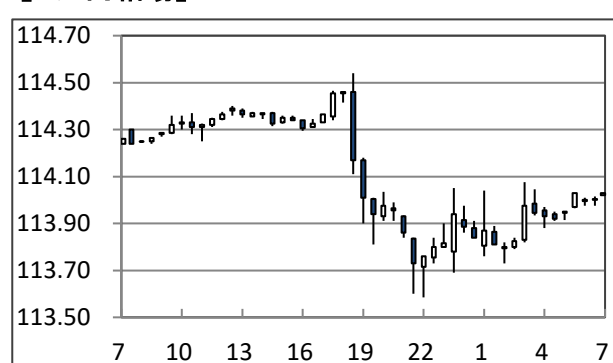
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月19日	08:30	日 全国CPI/コアCPI/コアコアCPI	10月 0.1%/0.1%/-0.7%	0.2%/0.1%/-0.7%
	09:01	英 GfK消費者信頼感	11月 -14	-18
	16:00	独 PPI(前月比/前年比)	10月 3.8%/18.4%	1.9%/16.2%
	16:00	英 小売売上高(除自動車燃料)(前月比/前年比)	10月 1.6%/-1.9%	0.6%/-2.8%
	22:30	加 小売売上高(前月比)	9月 -0.6%	-1.7%
11月20日	02:15	米 クラリダFRB副議長 講演	「12月FOMCでの資産購入ペース縮小の議論は適切」	

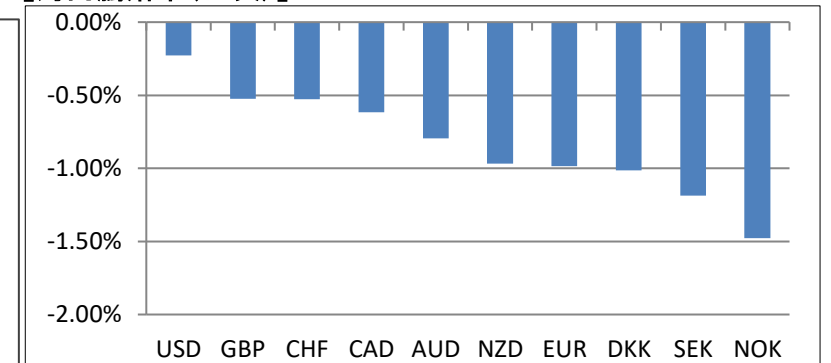
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月22日	22:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	10月 0.10	-0.13
11月23日	00:00	米 中古住宅販売件数	10月 6.18m	6.29m
	00:00	欧 消費者信頼感	11月 -5.5	-4.8
	17:30	独 マークイットPMI(製造業/サービス/コンポジット)・速報	11月 56.7/51.5/51	57.8/52.4/52
	18:00	欧 マークイットPMI(製造業/サービス/コンポジット)・速報	11月 57.3/53.5/53.0	58.3/54.6/54.2
	20:00	英 ハスケルBOE委員 講演	-	-
	23:45	米 マークイットPMI(製造業/サービス/コンポジット)・速報	11月 59.1/59/-	58.4/58.7/57.6

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.60-114.40	1.1250-1.1330	128.00-129.00

【マーケットインプレッション】

先週金曜日のドル円は下に行ってい。東京時間は114円前半での推移だったが欧州時間に、オーストラリアが22日からロックダウン入り、ドイツでもコロナ第4波の影響で保健相がロックダウンの可能性を排除しないとの見方を示すと、リスク回避の動きが急速に強まりクロス円の売りが急速に持ち込まれ、ドル円は113円台半ばまで下落。その後は、FED高官の相次ぐテーパリング支持発言を受けてドル買いが持ち込まれドル円は114円付近まで値を戻して、取引を終えている。ユーロドルやクロス円の下落局面もあったが、米国のテーパリング報道を受けてドル円は結局行ってい、114円台に戻している状況。本日は相場に大きな影響を与えるイベントに乏しく、欧州のロックダウン報道やそれを受けたリスクセンチメントの影響に目を配る必要があるか。ドル円は基本的には114円付近での推移を想定も下値リスクに警戒したい。

東京	東京時間のドル円は114.29レベルでオープン。休日前で実質五・十日でもあり実需勢の買いが散見されたことで下値は堅かったものの、目立った材料もない中でレンジ幅は限定的。114.25-40での推移に終始し114.34レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は114.34レベルでオープンした後、欧州での新型コロナ感染拡大を懸念し、円買いが優勢。オーストラリアは22日から全国ロックダウン、2月からワクチンが義務化されるという報道を受けて113.59円まで急落。その後は小幅に戻し113.76レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場でドル円は114.54まで戻すものの、オーストラリアが22日からロックダウンに入ることや、ドイツでもコロナ第4波の影響で保健相がロックダウンの可能性も排除しないとの見方を示したことから、リスク回避の動きが急速に強まり、ドルが買われる中クロス円の売りが急速に持ち込まれ、ドル円は113.59まで下落し、113.76レベルでNYオープン。この日は米経済指標の発表が予定されていない中、朝方は独外相が全国的なロックダウンの可能性を否定したことからユーロドルが急速に買い戻される展開に113.69まで下落するが、ユーロ円が買い戻される展開にドル円も114.05までサポートされる。その後は再び113円台へ反落するが、効派寄りのウォー理事の「インフレと雇用増を背景にテーパリング加速を支持」との発言を受け114.04まで上昇。正午前に三度114円を割り込むが、効派なクラリダ議長の「テーパリングのペースを12月の会合で協議するのが適切かも」と発言したことから114.07まで戻す。午後は週末を控え狭いレンジでの推移が続き、114.03レベルでクロスした。一方、ユーロドルはオーストラリアロックダウンのニュースやドイツも追従するのではとの見方から水曜に付けた直近の安値1.1263を抜け、1.1253まで急落し1.1257レベルでオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ1.1250まで下落するが、1.1250は短期的なレジスタンスとして意識されていることから反発し、また独外相がロックダウン否定の発言をしたことから1.1321まで戻す。その後は前述のウォー理事の発言でドルが買い戻され、午後に前述のクラリダ副議長の発言が伝わったことでドル買いが更に強まり、1.1284まで反落し、1.1300レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:上野・上遠野